



様式第4号 (第5条関係)

政務活動費収支報告書

平成31年 3月27日

(あて先) 飯能市議会議員

議員氏名 中 元 太

飯能市議会政務活動費の交付に関する条例第5条第1項の規定に基づき、下記のとおり平成30年度の政務活動費収支報告書を提出します。

1 収 入 政務活動費 180,000 円
2 支 出 63,624 円

(単位: 円)

科 目	金 額	備 考
調査研究費	1,130	久喜市コミュニティスクール事業視察交通費
研 修 費	4,436	観光庁DMO設立研修・獨協大学議員講座
広 報 費		
広 聴 費		
要請・陳情活動費		
会 議 費		
資料作成費		
資料購入費	15,250	SDGsの基礎・議員必携等
人 件 費		
事 務 所 費		
その他の経費	42,808	クラウドストレージ・セキュリティソフト等
合 計	63,624	

3 残額 116,376 円

- (注) 1 備考欄には、支出の内訳を記載すること。
2 領収書その他支出を証する書類の写しを添付すること。
3 政務活動費収支報告書に係る政務活動事業実績報告書を添付すること。

政務活動事業実績報告書

議員氏名 中 元 太

飯能市議会政務活動費の交付に関する規則第5条第2項の規定により、平成30年度政務活動費に係る事業実績報告書を次のとおり提出します。

月 日	事業名	事業概要及び成果等
7月12日	<調査研究費> 久喜市立太東中学校コミュニティスクール事業視察	<参加者> 中元太・栗原義幸・松橋律子 <目 的> 先進市久喜市立太東中学校「コミュニティスクール」について視察。 現状・導入手法・市民ニーズ・課題や今後の方向性等を知ることから、飯能市での実施を図っていくため。 <成 果> 地域と共にある学校としての役割、地域の拠点と進化変貌をしていく学校を地域住民が正しく理解し運営を推進していくのが大きな課題であるが、久喜市では中学、小学、地域がしっかりと連携し理想的な運営が図られている。 コミュニティスクールを基盤とした小中一貫教育が推進され地域と学校、保護者をつなぐ9年間で様々な分野で成功させている。 土曜学習では地域の方々が指導にあたり基礎基本の習得など学力向上を目指している。 合同防災訓練では地域と学校が一体となって訓練にあたり実用的な体制が構築されている。 この他にも保護者と地域に向けての情報発信や見守り活動、部活動支援なども実施され顔の見える関係が構築されている。地域住民の居場所づくりにも活用されている。本市も参考にすべき事例が多くあった。

10月25日	<研修費> 観光庁DMO設立のための研修	<参加者> 中元太・栗原義幸・松橋律子の他、市職員2名、観光協会役員2名が参加。 <目的> 飯能市版DMO設立へ向けて行うべき事を確認する。 <成果> 観光地経営推進官 茂原伸幸氏によるインバウンドの動向、世界的な観光産業の変化、国内における観光を基盤とした地域創生の実例などを通しDMOの必要性、将来性、役割等を確認。飯能市のDMO設立へ向けたあらたなスキームとフェーズへの具体的なアドバイスがあった。これにより観光協会主導、行政は補助的に推進していく等の方向性が確立できた様に思う。
平成31年 1月11日	地域活性化システム論「これからの『まちづくり』のヒントを探る」	<参加者> 中元太 <目的> 本市におけるまちづくりのヒントを探る。 <成果> 地域資源（環境・ひと）を活かしながら産業、福祉、医療、教育、レクリエーション等の分野ごとに計画立案、エリア分け等を行い、生き甲斐につながりながら自立を促し、目標を達成する事を目的としたまちづくりを学んだ。地域の特色に合わせたまちづくりに参考になった。

(注) 使途基準の項目別に記載すること。